

82 クライロキセルガイモドキ (キセルガイモドキ科)

Mirus andersonianus

兵庫県ランク:B

環境省ランク:NT

種の概要

北海道から島根県の日本海沿岸の山地に分布する。北陸から島根県にかけて分布するものは亜種のエチゴキセルガイモドキとされるが、ここではクライロキセルガイモドキとした。比較的標高の高い場所に生えるブナやミズナラなどの樹表が滑らかな樹木に付着している。殻長25mm前後のやや太い紡錘形。殻表面は鈍い光沢を有し、濃い飴色で唇縁は白い。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

養父市、新温泉町

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。県内北西部の扇ノ山から氷ノ山にかけての標高850～1,000m付近に生えるブナやミズナラ、ヤナギ類などの太い樹幹に付着する。樹木1本あたりの生息数は1ないし数個体であり、それらの木々も散見的である。

保護上の留意点

両山塊には本種の生息環境は広く存在するが、生息標高は限られている。植林の影響は但馬南部や丹波地方に比べると軽度であるが、林道建設や樹木の伐採などによる原生林の消失を軽減すること。



【執筆者】 増田修